

インドCEO商談会

開催日程 2026年11月25日(水)～11月27日(金)

主催：独立行政法人中小企業基盤整備機構

【インドCEO商談会】

自動車

P2 ~ P21

産業機械・ロボット

P22 ~ P29

AI・IT

P30 ~ P34

食品・日用品

P35 ~ P38

BIN01

ルマックス オート テクノロジーズ

Lumax Auto Technologies Limited

[参加予定者] 代表取締役

[本社] グルグラム (ハリヤーナー州)

[他事務所] インド全土

[HP] <https://www.lumaxworld.in/lumaxautotech/>

工場外観



工場内部



製造現場

- 設立年 : 1981年
- 資本金 : 2億6000万円
- 従業員数 : 8000名以上
- 売上高 : 932億800万円
- 事業内容 : 自動車部品製造
- 主要製品 : 自動車向けメカトロニクス、統合プラスチック、ギアシフター他
- 取引先 : グローバル自動車メーカー
- 国際認証 : ISO 14001:2015、ISO 45001:2018 IATF 16949:2016、ISO 50001:2018、ISO 27001:2022
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

インド証券取引市場上場のインドを代表する自動車部品製造企業。二輪車、三輪車、四輪車のOEM向けに、高度なメカトロニクス、統合プラスチック、ギアシフター、代替燃料システム等を供給する。スマートシステム及び先進運転支援システム(ADAS)の開発により、フルシステムサプライヤーへの移行を進めており、専用のSoftware-Defined Vehicle (SDV) 体制の構築も進めている。日本・中国に設置した事務所を通じて、パートナーシップの構築とグローバル市場へのアクセス拡大を推進している。自動車用電気・電子機器、車載アンテナ及びコネクテッドモビリティソリューション、ギアシフトレバーシステム用途でそれぞれ異なる日系企業と合併事業を運営している。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

インド市場の自動車アフターマーケット及びアクセサリ用途での製品ラインナップ拡充の目的で、先進的な日本の電子部品を取り扱う販売店(Distributorship)契約を希望する。対象製品は、以下の通り。

- ・ センサー(レーダーセンサー、超音波センサー、LiDARモジュール等)
- ・ カメラシステム(360°カメラモジュール、赤外線/暗視カメラ、ドライブレコーダー等)
- ・ ADASコンポーネント(車線逸脱警報、前方衝突警報等)

当社はインド全土に400以上のディストリビューター販売網を保有しており、輸出も視野に入れている。

■ 共同開発・技術提携

ハイブリッド車に使用可能なEV製品群・EV部品に加え、インド市場の課題である急速充電器に対応するため、充電ユニットに関する技術協力先を探している。バッテリーパック、バッテリー管理システム(BMS)、パワーエレクトロニクス(インバーター、DC-DCコンバーター、車載充電器)、電気モーター及びモーターコントローラー、車両制御ユニット(VCU)、組み込みソフトウェア等の課題に取り組みたい。パートナー企業には製品技術のノウハウ、設計、エンジニアリングのノウハウ、製造プロセス、試験・検証のサポートを期待している。当社からは市場参入、法務・コンプライアンス、重要部品の現地調達体制、製造拠点、用地、人材、現地での金型管理等の面で貢献したい。

BIN02

ハイウェイ ループ プレシジョン テクノロジーズ

Highway Roop Precision Technologies Limited

[参加予定者] 代表取締役

[本社] グルグラム (ハリヤーナ州)

[他事務所] チェンナイ、プーネ他

[HP] <https://highwayroop.com/>

当社鍛造

- 設立年 : 1971年
- 資本金 : 129億円
- 従業員数 : 2500名
- 売上高 : 450億円
- 事業内容 : 自動車部品製造販売
- 主要製品 : 自動車部品
- 取引先 : 自動車関連企業
- 国際認証 : ISO14001、27001、45001等
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は、自動車部品の機械加工、鍛造、鋳造、プレス、熱処理、コーティング、試験を専門とする世界有数の部品製造業。50年以上にわたり蓄積された経験を活かし、インド国内で15の最先端工場を運営、グローバルベースで50以上の優良自動車関連メーカーに商品とサービスを提供している。ステアリング、トランスミッション、サスペンション、パワートレインなどの重要な自動車部品製造を専門とする当社は、従来の内燃機関自動車市場と新興EV市場の両方に対応、更に今後は未来のモビリティに対応できる製品ポートフォリオを構築していきたいと考えている。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

当社が日本企業と共同開発、技術提携をして生産したい製品は自動車関連コンポーネント、サブアッセンブリー全般、パワートレイン関連等多岐にわたるが、特に興味あるのは、減速装置、トランスミッションモジュール、ギアシステム、軽量デフアセンブリ。日本企業と特に協業したい技術としては、精密歯車製造、精密鍛造における精度向上、生産プロセスのノウハウ、工具技術等。日本企業へ提供できる当社の強みは販売実績、グローバル品質実績、財務力、コスト競争力のある製造基盤。日本企業との提携による品質向上を期待している。

■ 合併会社の設立

インドでの製造及び市場基盤構築をめざす日本の部品あるいはシステムメーカーとの合併事業を検討している。当社は鋼鍛造、アルミニウムダイカスト、精密加工を得意としており、コスト競争力のある製造拠点と顧客アクセスを当社が提供、合併会社を急成長するインド市場向けと輸出拠点として機能させたい。もちろん技術提携から段階的に合併に進むことも可能。日本企業には開発・設計能力、製造プロセスのノウハウ、品質向上手法を合併会社に提供頂きたい。経営体制は柔軟に検討する。



当社機械加工

BIN03

マチノ プラスチックス

Machino Plastics Limited

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] グルグラム（ハリヤーナー州）
 [他事務所] アーメダバード、インドル、他1か所
 [HP] <https://www.machino.com>



本社ビル



工場フロア



製品の例

- 設立年 : 1987年
- 資本金 : 16億円
- 従業員数 : 1500名
- 売上高 : 80億円
- 事業内容 : プラスチック製品の製造・販売
- 主要製品 : 自動車部品（ダッシュボード、バンパー等）、二輪車部品
- 取引先 : 自動車・二輪車メーカー
- 国際認証 : ISO 9001、ISO 14001、IATF16949
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

インド最大のプラスチック射出成形部品メーカー。バンパー、フェンダー、グリル、ダッシュボード、グローブボックス等の自動車向け内外装部品を主力製品としている。自社の製品開発部門を持ち、最先端のCAD/CAMや高速CNC加工機を用いて製品の設計・エンジニアリングから金型製作、加工、組立、品質検査まで一貫して手掛けているため、どのような複雑な部品でも、迅速かつ効率的コストで、最終製品の製造にそのまま投入できるように完成し納品することができる。日本企業を始め多くの大手グローバル自動車メーカーに部品を提供しており、今後更に製品ポートフォリオを拡大し新たな顧客を開拓していきたい。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

自動車向けプラスチック部品の加工・製造に必要な最新の設備機械や工具類を提供できる日本企業との商談を希望している。対象となるのは、射出成形機、CNC/VMC/EDM加工機、ガンドリル、CMM（三次元測定機）、ダイスポッティング、ロボット・自動化装置等である。

また、原材料となるエンジニアリングプラスチック（PP, PC, ABS, ナイロン、PBT）や金型用の鉄鋼、ホットランナーシステム、切削工具等の金型製作に必要な機器・消耗品類のサプライヤも探索している。これらの設備機械・装置・工具等については、最先端の技術を用い、製造工程の効率化や製品の品質向上に資するものであることが望ましい。

■ 共同開発・技術提携

プラスチック射出成形を用いた自動車部品を製造する日本のメーカーとの共同開発・技術提携を目的とした商談を希望している。設計開発から金型製作、製品加工、組立、品質管理に至るまで、様々な工程に関して長期的かつ戦略的な協業関係を構築し、新たな製品や先進的な製造ソリューションの開発に共同で取り組みたい。特に、金型の設計や精密加工、品質検査といった工程や自動化・ロボット導入によるプロセスイノベーション、軽量エンジニアリングプラスチック等の新たな原材料の活用について関心が高い。なお、協業の具体的な形態については、技術供与・技術提携、共同開発、合併等、協業内容や戦略的関係の進展に応じて柔軟な対応が可能である。

BIN04

エヌアールビー ベアリングス

NRB Bearings Limited

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ムンバイ (マハーラーシュトラ州)

[他事務所] タイ、UAE、米国、ドイツ

[HP] <https://www.nrbbearings.com/index.htm>

製造工程の一部

- 設立年 : 1965年
- 資本金 : 3億円
- 従業員数 : 200名
- 売上高 : 213億円
- 事業内容 : 各種ベアリングの設計・製造
- 主要製品 : ニードルローラー・ボール・スラストベアリング、円筒ころ軸受等
- 取引先 : 自動車・自動車部品製造業、産機製造業、鉄道・防衛・航空宇宙産業
- 国際認証 : ISO9001、14001、45001、IATF16949
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

インドの軸受メーカー大手。ニードルローラーベアリングと円筒ころ軸受を中核に、ボール、テーパー、スラストや、ケージ、特殊ピンなど、精密な摩擦低減ソリューションを幅広く提供。設計から製造・供給まで一貫して対応できる開発力と生産基盤が強みで、軽量化や高性能化、用途別のカスタマイズにも注力。タイに製造拠点、インド国内にR&D拠点を有し、欧州、アジア、米州の大手OEMおよびTier1企業へ製品を供給中。EV、鉄道、防衛、航空宇宙などの多様な用途に対応し、世界40か国以上へ輸出。長年培った設計技術、品質管理、グローバル供給力を生かし、顧客の要求に応じた高精度・高信頼性の摩擦ソリューションを提供している。

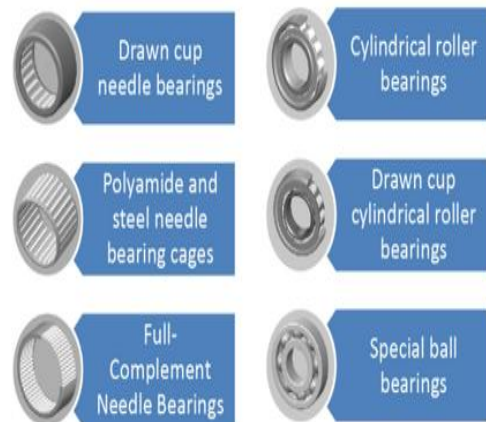
商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

軸受および軸受部品の生産に使用する機械、製造設備、ソフトウェア、治工具の調達を検討。日本をはじめ各国の企業から設備等を購入した実績はあるが、新たな供給先として技術力を持つ中小企業との取引拡大も検討したい。設備では、研削、CNC旋削、検査、組立、梱包、搬送の工程自動化を想定。自動化にあたってはその導入支援やコンサルティング機能も期待する。設備以外では、リテーナー、ボール、シール、リングなどの構成部品も対象で、金属製・樹脂製リテーナー、樹脂・金属部品、シール等にも関心がある。これらは現在、輸入品とインド国内調達品の双方を使用中。本商談参加を工程の生産性および製品品質の向上につなげたい。

■ 共同開発・技術提携

熱処理技術に関する専門的な助言を受けるとともに、技術協力により、小型ボールベアリングの開発を進めたい。特に熱処理について品質や性能向上を目的として支援頂ける企業との連携を希望。607および608サイズを対象としており、設計、材料、加工、熱処理、精密製造、品質管理等の知見を活用したい。共同開発や技術指導を通じて製品開発力を強化し、高品質な小型軸受の開発・生産と、製造工程全体の品質向上を目指す。



製品一例

BIN05

スターリング ツールズ

Sterling Tools Limited

[参加予定者] 取締役
 [本社] ファリダバード（ハリヤーナー州）
 [他事務所] 北米、欧州各地、ブラジル
 [HP] <http://stlfasteners.com>



各種ボルト



モーター制御ユニット



基盤製造

- 設立年 : 1981年
- 資本金 : 17億円
- 従業員数 : 700名
- 売上高 : 156億円
- 事業内容 : 自動車部品製造
- 主要製品 : ボルト、電子部品（モーター制御ユニット）等
- 取引先 : 自動車メーカー、2輪メーカー
- 国際認証 : IATF16949、ISO9001、ISO14001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社はインド有数のファスナー＝留め具を中心にした自動車部品メーカーで、OEM向けの強い基盤をもとにEV分野ではモーター制御ユニット（MCU）でも2021年に完全子会社（SEM社）を設立して、2、3、4輪向け各種電子部品を基板から製造、ユニットにして供給している。ファスナーでは、アクスルボルト、エンジンボルト等の基幹部品を中心にインド内のみならず、アメリカ、欧州等の主要OEM向けに40年以上の供給実績を重ねている。EV分野は子会社化による専門集中によりモーター制御、及びコンタクター＝スイッチ機器分野にて最先端の電子部品分野にて実績を上げ、時代に合わせた事業展開を図っている。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

インド国内の主要日系自動車メーカー向けに高強度ボルト＝high tensile fastener供給を実現すべく日本の最先端製造技術を取り入れたい。現状は日本の主要ボルトメーカーが直接日本から輸出供給しているものも多く、エンジン回り、アクスル等の基幹部品についても、日本の主要ボルトメーカーと遜色ないレベルまで製造技術を高められる様なパートナーと技術提携に向けた商談に期待している。

また、BEV及びHEV分野でも本格的なパワートレイン分野、モーター部品にも進出し、日系二輪・四輪メーカー向けへの供給を実現できるような技術提携先との商談に期待している。

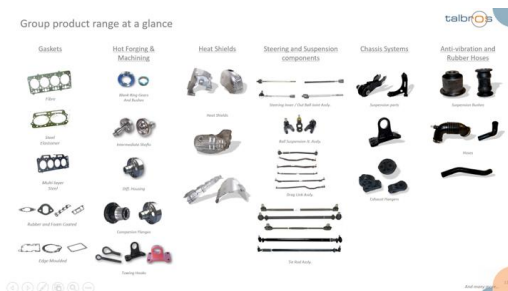
またトラック、二輪等の先進運転支援システム（ADAS、ARAS）にも強い興味がある。インドでは特に二輪事故件数を減らすため2028年にもADASシステム導入が法制化される予定で、日本の最先端技術（特にスマートカメラ、レーザー）を導入し、日系OEM向け供給を実現できる様なパートナー候補との商談が実現できると良い。

BIN06

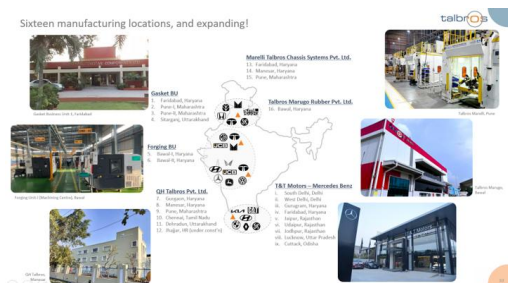
タルブロス グループ

Talbros Group

[参加予定者]部長
 [本社]グルグラム（ハリヤーナー州）
 [他事務所] プネー、チェンナイ他
 [HP] <https://www.talbros.com/>



自動車用部品一覧



グループ製造拠点一覧



日・伊パートナー企業

- 設立年 : 1956年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 6500名
- 売上高 : 555億円
- 事業内容 : 自動車部品製造業
- 主要製品 : 自動車部品
- 取引先 : インドおよび海外の自動車および建機メーカー
- 国際認証 : ISO9001、14001、14064
- 日本企業との取引経験 : 有

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

日本のTier1および2の自動車部品メーカーに対して、合併企業の設立の機会を提案したい。具体的には、先進的な構造部品、新エネルギー車およびEVの分野で、アルミニウム鍛造、熱鍛造、ギア減速機、サーマルマネジメント、デフ・最終駆動Assy、CVジョイントシステム、シフター、EPBなどの電気機械式システム、HVコネクタ、リレー、バスバーなどの高電圧電気部品、センサー（ADAS・非ADAS）などの分野での戦略的な合併会社の設立を希望している。

■ 共同開発・技術提携

日本のTier1および2の自動車部品メーカーとの間で、共同開発および技術提携を行いたい。具体的には、先進的な構造部品、新エネルギー車およびEVの分野で、アルミニウム鍛造、熱鍛造、ギア減速機、サーマルマネジメント、デフ・最終駆動Assy、CVジョイントシステム、シフター、EPBなどの電気機械式システム、HVコネクタ、リレー、バスバーなどの高電圧電気部品、センサー（ADAS・非ADAS）などの分野での戦略的な技術提携を行うことで、当社の持つ広範な国内顧客ネットワークと製造拠点を活用し、パートナー企業の技術をインド市場で拡大させることができる。

[会社概要]

当社は、グループ5社でインド全土に16の拠点を持つ自動車部品メーカーである。イタリアや日本の自動車メーカー向けサプライヤーとの間で合併企業や技術ライセンス契約を締結している。インドの乗用車、商用車、電気自動車およびオフロード車および農業機器、2輪車のメーカーにガasket、鍛造品、シャーシ、ステアリングおよびサスペンションなどの部品を供給するとともにドイツや韓国をはじめとして世界25か国に輸出もしている。今後、800億円の売上を目指し、新エネルギー車やEVの分野において、鍛造、シャーシなどのコア部品について投資を行い、グローバルモビリティにおけるリーディングTier1パートナーの地位の確立を目標としている。

BIN07

シュアロック

Surelock Pvt. Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ムンバイ（マハーラーシュトラ州）
 [他事務所] イタリア
 [HP] <https://www.surelock.in/>



インド・スィルバーサー工場



工場内の新製品開発エリア



展示会出展

- 設立年 : 1998年
- 資本金 : 1000万円
- 従業員数 : 450名
- 売上高 : 150億円
- 事業内容 : ケーブルマネジメント・配線ソリューション製造販売
- 主要製品 : プラスチックファスナー、プラスチックシール、スリーブ等
- 取引先 : 自動車メーカー、再生可能エネルギー産業
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、UL、CE、REACH、ROHS、DNV
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

当社はインド有数のケーブルマネジメントおよび配線ソリューションメーカーである。プラスチックファスナー、プラスチックシール、ステンレス製結束バンド・スリーブなどを主力製品とし、自動車メーカー、再生可能エネルギー、電気機器、鉄道向けに製品を供給している。設計、工具製作、金型開発、材料技術、試験評価までを社内対応できる体制を有する。輸出拠点としてイタリアに事務所・倉庫を保有し、2002年から欧州・アジア・米州への輸出実績を有する。現在は約60社以上の顧客を持ち、2030年までにインド国内で新たに2工場を建設し、EV関連部品や配線保護製品分野の事業拡大を計画している。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

日本企業の精密エンジニアリング技術、先進材料技術、自動化技術、製品開発ノウハウと、当社の製造・金型・評価技術およびインド市場ネットワークを組み合わせた提携を希望する。特にEV・バッテリーシステム、自動車部品、データセンター、再生可能エネルギー、産業オートメーション、鉄道分野を重点領域としている。製品設計から試作、量産まで幅広い形態の協業に対応可能であり、当社の既存顧客であるインド自動車メーカーや白物家電メーカー向けの新製品開発および市場展開を目指す。

■ 合併会社の設立

インドでの生産拡大を検討する日本企業との合併会社設立に関心を持っている。先進技術やOEM採用実績を有する製品の現地生産・事業化を目指し、生産設備、製造ノウハウ、顧客ネットワークを提供する。対象分野はEVやバッテリーを中心とする自動車部品、電気・電子部品、再生エネルギー関連等であり、インド市場および輸出市場向けの事業拡大を目指す。

■ 日本企業からの生産受託

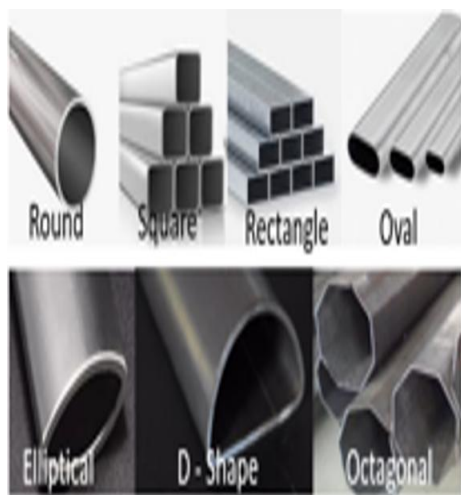
日本の大手メーカーやTier1・Tier2サプライヤー向けに、インドでの現地生産・現地調達を行うパートナーとなることを希望する。社内の強力な設計・金型・試験・製造機能を活用し、コスト競争力のある代替製品開発や輸入部品の現地生産化が可能である。自動車、電気機器、産業機械など幅広い分野で長期的な供給関係の構築を目指している。

BIN08

エーエヌエス スチール チューブス

ANS STEEL TUBES LIMITED

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ファリダバード (ハリヤーナー州)
 [他事務所] インド国内に複数拠点あり
 [HP] <https://www.jbmgroup.com/>



製品概要

- 設立年 : 2007年
- 資本金 : 3億2000万円
- 従業員数 : 210名
- 売上高 : 127億6000万円
- 事業内容 : 自動車向け精密鋼管およびチューブ部品の製造
- 主要製品 : 精密鋼管、高張力鋼管、ボロン鋼管、表面処理鋼管、ステンレス鋼管等
- 取引先 : 自動車メーカー、自動車部品メーカー、建設機械メーカー
- 国際認証 : IATF16949、ISO9001、14001、45001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

インドのJBMグループに属する精密鋼管メーカーで、自動車業界向け鋼管およびチューブ部品を製造。設立から暫くは大手日本企業からの出資も行われていた。年間12.5万tの生産能力を有し、引張強度1180MPa級の高張力鋼管、ボロン鋼管、表面処理鋼管、ステンレス鋼管などの高付加価値製品を提供。製品形状は丸形、角形、矩形、楕円形、異形断面など幅広く、自動車用構造部品や排気系部品向けに供給。国内に複数の製造拠点を展開し、自動車OEM向けの豊富な供給実績を持つ。今後は高機能鋼管分野の拡大に加え、ステンレス鋼管事業への参入や海外市場開拓を推進し、日本企業との技術連携や事業提携を通じてさらなる成長を目指している。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

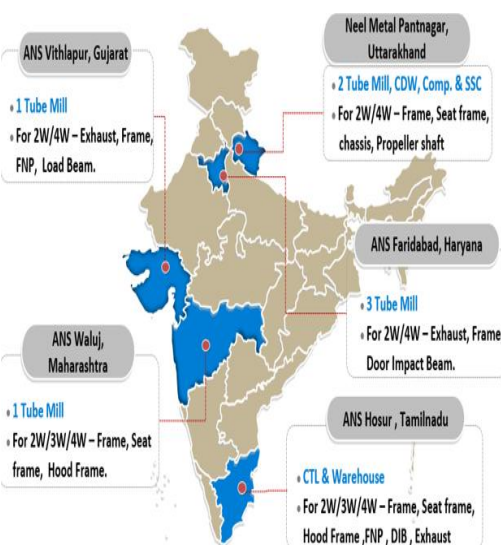
日本の鋼管メーカーとの合併事業設立を希望。対象は特殊鋼管や高機能鋼管分野であり、両社の技術や市場基盤を組み合わせ高付加価値製品の事業拡大を図る構想である。2007年から2021年まで日本企業との合併経験を有しており、その経験を基盤に新たな協業機会を模索している。日本企業との資本・技術連携を通じて競争力向上と海外展開強化を目指している。

■ 共同開発・技術提携

高品質かつ高機能な鋼管製品の開発を目的とした技術連携を希望。特に超高張力鋼管、ステンレス鋼管、レーザー溶接、精密引抜加工、防錆技術、表面処理技術などの分野に強い関心を持つ。日本企業が持つ高度な製造技術や品質管理ノウハウを取り入れることで、自社製品の付加価値向上を図りたい考えである。自動車・自動車部品業界に知見のある企業が望ましい。自動車OEMやTier企業向けの高品質鋼管製品の競争力強化を目指している。

■ 日本企業への販売

また、日本市場への供給についても商談を希望。高機能鋼管を日本の自動車産業向け精密鋼管・チューブ部品市場に展開を希望している。自動車関連サプライチェーン各Tierの企業や鋼管商社・販売代理店との商談にも関心が高い。



拠点一覧

BIN09

オートフィット Autofit Private Limited

[参加予定者] 取締役

[本社] ニューデリー

[他事務所] ハリヤーナー、グジャラート、タミルナドゥ他

[HP] <https://www.autofitltd.com/>

【会社概要】

当社は大手の車両用シートメーカーであり、二輪車用シート、オフロード車両用シート、PUモールドフォーム、樹脂成形部品、アルミダイカスト部品、二輪用ホイールアセンブリ、ハンドルバーアセンブリなどを製造している。従業員1100名、インド国内5拠点の生産体制を有し、年間600万台超の二輪車シート、1100万台超の二輪車ホイールアセンブリ、100万台超のオフロード車両用シートを生産する。Hero MotoCorp、TVS、Royal Enfield、Suzuki Motorcycles Indiaなど主要二輪車メーカーへの供給実績を有し、トラクター・建機分野にも展開している。ポーランド、南アフリカ、バングラデシュ等への輸出実績を持ち、IATF16949等の認証に基づく品質管理体制を構築している。

- 設立年 : 1985年
- 資本金 : 1500万円
- 従業員数 : 1100名
- 売上高 : 93億円
- 事業内容 : 車両用シート製造販売
- 主要製品 : 二輪車用シート、オフロード車両用シート、PUモールドフォーム、アルミダイカスト部品
- 取引先 : 自動車・トラクターメーカー
- 国際認証 : IATF16949、ISO45001、ISO14001、VDA6.3
- 日本企業との取引経験 : 有

同社全体の紹介



製品群



高圧ダイカスト部品

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

当社は40年以上にわたり培ってきた車両用部品の量産技術、品質管理能力、コスト競争力を活かし、日本企業との共同開発・技術提携を希望している。特に乗用車及び関連半導体・EV分野への事業拡大を重要戦略としており、アルミ押出材・アルミダイカスト部品、センサー・アクチュエータ、自動車内装部品、サンルーフ関連サブシステム、バッテリー筐体、シートセンサー、シートリクライナー、シート快適化システム、EV関連部品等の分野に関心を持つ。またフリートマネジメントシステム・ライフサイクル管理等、サブスクリプション事業も構築したい。上記の分野での技術・製造ノウハウを持つ日本企業との提携により、共同開発、設計、大量生産を実現し、自動車メーカー又はTier1サプライヤーに販売することを希望する。

■ 合併会社の設立

新製品・新技術の事業化を目的として、日本企業との合併会社設立を検討している。技術移転や設計ノウハウの獲得を通じて、まずは乗用車部品の受託製造型企業から将来的には設計・開発機能を有する企業への発展を目指す。重点領域はアルミ関連部品、センサー・アクチュエータ、EV関連部品、サンルーフ関連部品、軽量化部品等であり、乗用車メーカーやTier1サプライヤー向けの事業展開を想定している。そのためにも、提携する日本企業は、インド市場で高いシェアを有する日系自動車メーカーとの関係性を有することが望ましい。合併会社では製造のみならず販売活動も行い、長期的な戦略パートナーとして新たな市場機会の創出を目指したい。

BIN10

ドーンサン キョウセイ エンジニアリング

Dawnsun Kyosei Engineering Pvt Ltd

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ノイダ（ウッタール・プラデーシュ州）
 [他事務所] ニューデリー、チェンナイ、グジャラート
 [HP] <https://www.tiretechindia.com>

[会社概要]

1997年に設立された当グループは主に2つの事業領域をもつ。一つは自動車部品製造部門にて、この分野では日本、スウェーデン、タイ、ドイツと合併事業を運営している。もう一つはタイヤ、ゴム、プラスチック等の販売・製造部門にて、この事業分野では商社機能も発揮している。また各関連産業分野に、ロボティクス、自動化製造、試験機器も提供している。当社の訓練された技術者は、ヨーロッパ、日本、アメリカといったグローバルベースで、機械の設置、試運転、アフターサービスを提供している。インドの自動車業界に世界水準の技術を提供することが当社のビジョン。

- 設立年 : 1997年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 500名
- 売上高 : 52億5000万円
- 事業内容 : 自動車部品製造販売
- 主要製品 : 自動車部品
- 取引先 : 自動車関連企業
- 国際認証 : ISO9001、14001、45001等
- 日本企業との取引経験 : 有



当社歴史

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

インド国内を中心に、アクチュエーター、バルブ、サーボドライブ他自動車関連、自動化機器、ゴム・タイヤ・プラスチック・ポリマー産業の製造で使用する各種産業機器、消耗品、部品等を販売したい。5軸、3軸CNCマシンにも興味あり。当社は配送、アフターサービスも対応できる全土に広がるネットワークを保有している。また、当社工場において活用する製品の購入も検討したく、特に自動車及びタイヤ業界向けの工具や金型を製造する企業との面談に興味あり。

■ 合併会社設立

当グループ自動車部門は、日本、スウェーデン、ドイツ企業との複数の合併事業で構成されており、製品をインド国内主要自動車メーカーに供給している。当社の自動車・農業機械・家電業界における広範なネットワークを活用し、インド市場への参入を目指し、自動車部品・電気製品・水処理・家庭内電気機器の製造・販売に関心のある日本企業と商談をしたい。当社の強みは主要メーカーとの強固な関係やマーケットに関する知見であり、そこに日本企業の高い技術力を組み合わせた合併事業を立ち上げたいと考えている。



Automotive Parking Break
Cable

当社製品

BIN11

エーアールジーエル ARGL Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
[本社] グルグラム（ハリヤーナー州）
[他事務所]
[HP] <https://www.arglltd.com>



リングギア



フレックスプレート



製造設備

- 設立年 : 1996年
- 資本金 : 6億7500万円
- 従業員数 : 1200名
- 売上高 : 52億5000万円
- 事業内容 : 車両用歯車機構の製造・販売
- 主要製品 : スターターリングギア、タイミングリング、フレックスプレートアセンブリ
- 取引先 : 自動車、土木機械、トラクター、定置式エンジンメーカー等)
- 国際認証 : ISO-TS16949、ISO14001、TISAX
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は、スターターリングギアとフレックスプレートの大手メーカーであり、インド国内第1位、世界第3位のシェアを誇る。独自の製造プロセスにより、世界中のOEMメーカーから高い評価を得ている。EV、ハイブリッド車、ハイエンド内燃機関車の遊星歯車機構用インナーリングギアの製造を開始し、製品ラインナップを拡充している。スターターリングギア事業における市場シェアの拡大と、遊星歯車機構に使用される環状リングギア事業への多角化を通じて、4年間で収益を倍増させる計画。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

当社は、電気自動車、ハイブリッド車、内燃機関車向けの遊星歯車機構の製造分野に事業を拡大しており、当社の能力をさらに強化するためのパートナーを探している。具体的には、これまでスターターリングギアを専門に製造していますが、今回、EVパワートレイン（動力伝達機構）、ハイブリッドパワートレイン、その他の遊星歯車機構への事業多角化を決定した。これら新領域のギアの製造経験がないため、これらのパワートレインの製造に関する知識を持つパートナーを探している。日本企業との技術提携を希望するが、最終目標は、これらパワートレインの設計・製造を行う合併事業の設立となる。

■ 共同開発・技術提携

上記に加えて、既存のスターターリングギア事業分野においても、更なる技術アップグレードを目指すため、日本企業との共同開発・技術提携を希望している。新製品の開発を通じて、未開拓市場への参入により市場シェアの拡大を図りたい。

BIN12

サン オートモーティブ インダストリー

SAN Automotive Industries Pvt. Ltd.

[参加予定者]部長

[本社]ファリーダーバード（ハリヤーナー州）

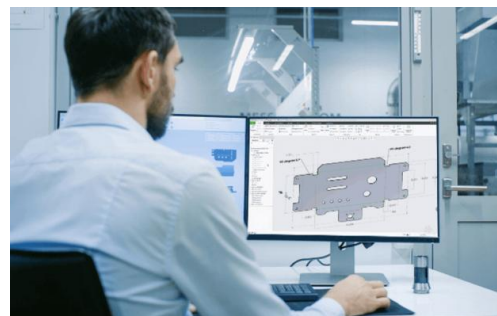
[他事務所]ー

[HP] <https://www.sanautomotive.com/>

板金プレス工場



自動車用部品一覧



R&D

- 設立年 : 2000年
- 資本金 : 3億2000万円
- 従業員数 : 650名
- 売上高 : 22億円
- 事業内容 : 自動車部品製造業
- 主要製品 : 自動車・建機・農機向け部品（板金プレス）および金型
- 取引先 : インドのOEMおよび日本のTier1をはじめとする海外の自動車および建機、農機OEMおよび部品メーカー
- 国際認証 : IATF 16949:2016
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は、主に精密板金プレスを製造する部品製造メーカーであり、インドに3つの工場を有している。280台のパワープレス機を保有しているほか、金属材料加工、ロボット溶接、メッキおよび粉体塗装、金型製造、機械組み立てまでの能力を保持している。

今後、2～5年で自動組立、画像検査への投資を行い、生産性を向上させるとともに、コンポーネントだけでなく、自動車ワイパーアームシステムなどフルシステムの開発、EVの成長に合わせて、バッテリー筐体や構造部品に注力するとともにリチウムイオン電池リサイクルシステムの開発など、産業機械、電子機器、半導体機器などの部品に多角化を図ることに注力していく計画である。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

EVバッテリー用のガスケットやシール、データセンターや原子力システム用高品質なMSLレベルのガスケットの技術を保有する日本企業との合併会社設立を行いたい。急拡大しているEV生産の下、インドでは、バッテリーシール加工は依然として輸入に依存しており、現地化するチャンスがある。当社の製造インフラと日本の製品設計やプロセス技術を組み合わせ、インドだけでなく、グローバルでの顧客にサービスを提供することを期待している。加えて、当社がコンポーネント製造からフルシステムサプライヤーへの変革を加速するための戦略的資本パートナーシップも求めている。

■ 共同開発・技術提携

日本の自動車ワイパーシステムのメーカーとの技術協力、インド国内でのワイパーシステムのライセンス生産を期待している。当社の製造インフラおよびワイパーブラケットとワイパーリングの生産能力と日本のパートナー企業の製造技術、順送プレス加工、自動組立、機能テストのノウハウを導入したいと考えている。パートナー企業はインドのOEM自動車メーカーへのアクセスだけでなく、海外のOEMメーカーに対してコスト競争力のある生産基盤を獲得することが期待できる。

BIN13

ユニサーム エンジニアーズ

Unitherm Engineers Limited

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ムンバイ (マハーラーシュトラ州)
 [他事務所] ベンガルール、チェンナイ他
 [HP] <https://www.unithermengineers.com/>



熱処理製品

- 設立年 : 1993年
- 資本金 : 2億3000万円
- 従業員数 : 413名
- 売上高 : 40億円
- 事業内容 : 表面・熱処理ソリューション
- 主要製品 : 熱処理炉、大気熱処理ソリューション
- 取引先 : 自動車、重工業、エネルギー、鉄道、精密機械、航空宇宙
- 国際認証 : IATF16949、ISO 9001:2015、AS 9100D、NADCAP (in process)
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

創業以来、30年以上に渡って熱処理・表面処理分野で事業を展開するインド有数の企業グループ。インド各地に先進的な設備を有し、雰囲気熱処理・真空熱処理サービス、工業炉製造、PVDコーティング等、総合的なソリューションを提供する。これまで欧州企業との合併事業を通じて高度な技術力を培い、世界的自動車メーカーや部品会社を中心に幅広い産業を支えて来た。今後、航空宇宙、防衛、鉄道、再生可能エネルギー、精密工学等の成長分野展開を強化、インド国内の戦略的地域に関連拠点を拡充する計画である。更に、高度な表面処理技術、オートメーション、デジタル化、持続可能な生産への投資を進め、海外企業からの技術移転・戦略提携・合併を通じ競争力向上を進めて行く。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

単なる技術移転に留まらない長期的な戦略提携に向け、50対50出資の合併事業を希望する。パートナー企業には、高度な表面処理技術、工程ノウハウ、技術研修、継続的な技術革新、及びグローバルな知見の提供を期待する。当社からはインドにおける製造設備、経験豊富な人材、強固な顧客基盤、市場・規制への深い知見、営業・サービス体制を提供出来る。合併会社では、技術開発・製造に加え、販売・マーケティング、事業化、市場開拓、新製品・新規事業開発までを一体的に展開したい。当面はインド市場で確固たる基盤を築き、新興・高付加価値産業への展開と持続的成長を目指す。将来的には、提携先の国際ネットワークと当社の製造力を活用し、既存の欧州企業との合併事業で実現したような世界市場への輸出展開も検討したい。

■ 共同開発・技術提携

技術提携を通じて、先進的な表面処理技術、プロセスノウハウ、及びグローバルな品質基準へのアクセスの課題克服に取り組みたい。日本のパートナーには、先進的な表面処理技術、プロセスノウハウ、ベストプラクティス、および技術研修の提供を期待している。当社からは、製造インフラ、経験豊富な人材、応用分野における専門知識、そしてインドにおける強固な市場基盤と顧客ネットワークを提供させて頂く。対象協業範囲は、技術移転、加工技術、技術研修、プロセスの最適化、製造ラインの改善、および商用化への支援を含む。主なターゲット市場はインド市場であり、技術協力が成熟するにつれ、当社の製造能力とパートナーのグローバルな専門知識を活用し、輸出の機会を模索して行きたい。

低炭素鋼の表面硬化
処理装置

ガス軟窒化処理装置

BIN14

ハベル ラム バンシ ラル

Havel Ram Bansi Lal (HRBL)

[参加予定者] 取締役

[本社] グルグラム (ハリヤーナー州)

[他事務所] ルディアナ、パトナ、ハリドワール等

[HP] <https://www.hrblindia.com/>

旋削および立形マシニング
センタ(VMC)を含む加工設備



自社のHR塗装技術を用いたHero
製バイク用シリンダーブロック



左側にCED塗装、右側に液体塗装
のラインを配置した製造フロア

- 設立年 : 1926年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 110名
- 売上高 : 30億円
- 事業内容 : 二輪車部品塗装、精密加工、
塗料販売、電動ショベル製造
- 主要製品 : 二輪車用塗料、精密加工部品
電動ショベル
- 取引先 : 二輪車メーカー、二輪車部品
メーカー
- 国際認証 : ISO9001、IATF、TUV、
ZED gold
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社はインド国内に複数拠点を展開する製造・商社機能を有する企業グループである。工業塗装・表面処理事業を中心に、塗料製造、自動車・産業向け製造事業、3M・BASF・関西ペイント・Apar等の製品を取り扱う商社事業、精密加工事業、電動ショベル製造事業を展開している。Hero、TVS、KTM、BMW、メルセデスベンツ等の海外メーカーや大手日系二輪メーカー関連の案件実績を有する。精密加工分野では2ミクロンレベルの公差管理に対応。現在は高機能ダイカスト分野への投資を進め、設計から完成品までをワンストップで提供できる体制の構築を目指している。電動ショベルでは子会社INJIN CORPEを設立し欧州市場への展開を狙っている。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

自動車および建設機械メーカー向け消耗材・補修部品の販売代理店契約を希望している(塗料、潤滑油、研磨剤等)。自動車向けには複雑形状の重カダイカスト部品やバスバー・誘電体・絶縁体等のバッテリー関連資材にも関心を有し、自社の顧客基盤を活用したインド市場展開を検討している。また、CED塗装に代わる高耐食塗装ソリューションを探している。高級二輪車向けプラズマ塗装、防爆仕様塗装ロボット等については、自社工場を活用した実証評価(POC)およびインド国内での独占販売も視野に入れている。

■ 合併会社の設立

マグネシウムダイカスト、高圧ダイカスト(HPDC)、耐気孔性鑄造技術等を有する企業との協業を希望している。自動車・航空宇宙分野向けの高機能鑄造部品需要に対応するため、HRBL社の既存設備および顧客基盤を活用し、専門的なHPDC技術の導入を検討している。新会社設立ではなく、既存拠点を活用した技術導入・製品開発・インド生産体制の構築を想定している。

■ 共同開発・技術提携

INJIN CORPEが開発する電動ショベル事業において、日本企業との技術提携又は直接投資を希望している。電動ショベル製品自体は開発済みであり、欧州市場への展開を見据え、電動パワートレインおよび油圧システムの高度な試験パラメータの技術・ノウハウ導入に関心を有する。電動パワートレイン開発企業でインド進出を希望する企業に対し、5～6億円の投資でINJIN-Corpe社の15%の株式を譲渡する準備がある。15

BIN15

ストーク ラバー プロダクツ

Stork Rubber Products Pvt. Ltd.

[参加予定者] 代表取締役

[本社] グルグルム（ハリヤーナー州）

[他事務所] チェンナイ、シタルガンジ、マナーサル

[HP] <https://www.storkrubber.com/>

整理整頓された工場内部

- 設立年 : 1995年
- 資本金 : 5300万円
- 従業員数 : 300名
- 売上高 : 20億円
- 事業内容 : 自動車用防振部品・送配電機器の製造販売
- 主要製品 : 防振部品、制御ケーブル、ポリマー碍子
- 取引先 : 自動車・二輪車メーカー
- 国際認証 : IATF 16949、ISO 45001、ISO 14001、MMOG/LE、VDA6.3
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

当社はTier2レベルの自動車部品メーカーであり、防振ゴム部品、ゴム・金属接着部品、樹脂成形部品およびコントロールケーブルの設計製造を行っている。インド国内OEM向け供給に加え、世界40カ国以上へアフターマーケット向け製品を輸出している。主力製品はエンジンマウント、コントロールアームブッシュなどの防振部品であり、子会社ではギアシフトケーブルを含む各種コントロールケーブルを製造している。また、電力分野向けにポリマー碍子等も展開している。インド国内ではMahindra、Ashok Leyland、Royal EnfieldなどのOEM向け実績を有しており、現在は製造受託型企業から設計・開発機能を備えたフルサービスサプライヤーへの発展を目指している。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

EV充電関連機器や送配電設備関連製品を保有する日本企業との協業を希望する。当社グループの販売ネットワークを活用し、日本製品のインド市場展開や販売代理店契約の可能性を検討したい。また、超高圧送配電分野や鉄道分野向け製品についても提携機会を模索している。

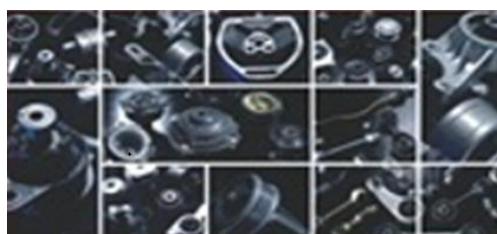
■ 合併会社の設立

自動車や二輪車の防振部品およびコントロールケーブル分野において、設計・開発能力を有する日本企業との協業を希望する。特にマウント、ギアシフトケーブル等の分野において、設計・開発能力の取得・高度化を目指す。既存生産拠点を活用しながら、共同開発から製造・販売までを視野に入れた長期的なパートナーシップを希望する。販売先は自動車・二輪車メーカーやTier 1サプライヤー・アフターマーケットを想定。

■ 日本企業への販売

日本のTier1・Tier2自動車部品メーカーおよび補修部品流通企業との商談を希望する。主な提案製品はエンジンマウント、トランスミッションマウント、油圧式マウント、コントロールアームブッシュ、ギアシフトケーブルおよび配電用ポリマー碍子である。32年にわたる輸出実績とコスト競争力・品質・幅広い製品ラインアップを活かし、日本市場向けの供給機会を拡大したい。

製造設備



製品群

BIN16

スティーロバード インターナショナル Steelbird International

[参加予定者] 取締役

[本社] ウダム・シン・ナガル(ウッタラーカンド州)

[他事務所] デリー

[HP] <https://steelbird.com/>

ダンパー



潤滑油



工場内観

- 設立年 : 1964年
- 資本金 : 3億2300万円
- 従業員数 : 350名以上
- 売上高 : 19億5100万円
- 事業内容 : 自動車用ゴム成形部品・フィルター製造
- 主要製品 : 自動車用ゴム成形部品・フィルター
- 取引先 : 国内外自動車産業Tier 1・主要OEM企業
- 国際認証 : ISO9001、ISO45001、ISO14001、IATF16949 & VDA6.3
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

インドで最も歴史があり、評価の高い自動車用ゴム成形部品及びフィルターメーカーの一つ。長年に渡り、品質、信頼性、顧客満足面で高い評価を築き、国内外のTier 1及び主要OEM顧客に製品を提供してきた。自動車用フィルター(エア、オイル、燃料)及びゴム成形部品の主要メーカー兼輸出企業であり、世界15か国以上に輸出している。二輪車、三輪車、乗用車、商用車、トラック、農業機械等、幅広い用途に対応している。近代的な3つの製造工場と350名を超える熟練従業員を擁し、強固な品質管理体制に基づき、世界水準の製品提供に取り組んでいる。

製造、技術、EV部品への戦略的投資を通じて、今後3～5年間で事業規模を2倍に拡大して行きたい。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立(センサー用途)

自動車用センサー分野において、センサーの製造ノウハウ及び日本のOEM企業との関係を持ち、インドの自動車市場への参入を目指す日本のセンサー技術企業との合併事業を希望する。対象となるセンサーは、酸素センサー、スロットルポジションセンサー、マニホールド絶対圧力センサー、クランクポジションセンサー、バンク角センサー、エンジンオイル温度センサー、吸気温度センサー、タイヤ空気圧監視センサー、サイドスタンドセンサー等である。当社は、インドでの製造現場運営経験を基に現地での管理面を支援する。インド国内でのOEM及びアフターマーケット市場がターゲットである。

■ 合併会社の設立(ラバーベルト用途)

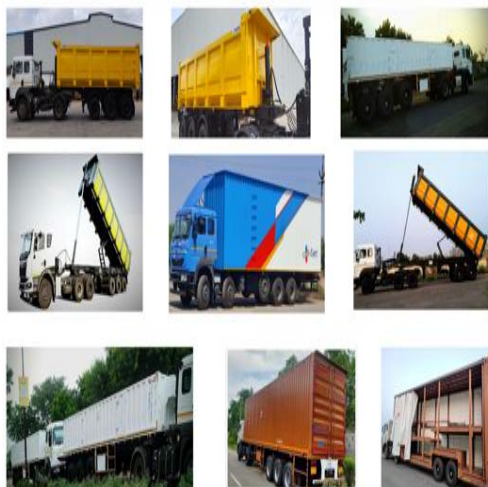
ゴムベルトの製造分野において、専門知識・ノウハウ及び日本のOEM企業との関係を持ち、インドの自動車市場への参入を目指す日本企業との合併事業・提携を希望する。製造技術の向上、製品品質の改善、生産コストの最適化、自動化の導入、及びEV業界向けの革新的で高性能なゴムベルトの開発を目的としている。特に、タイミングベルトのノウハウに期待している。インド国内でのOEM及びアフターマーケット市場がターゲットである。

BIN17

カマル コーチ ワークス

KAMAL COACH WORKS PRIVATE LIMITED

[参加予定者] 取締役
 [本社] ジャイプール (ラジャスタン州)
 [他事務所] ー
 [HP] <https://kamalcoach.com>



ダンプ・トレーラー



バス・救急車・消防車

- 設立年 : 1905年
- 資本金 : 1000万円
- 従業員数 : 695名
- 売上高 : 43億2000万円
- 事業内容 : 特装車、商用車等の設計・製造・販売
- 主要製品 : バス、救急車、消防車、等
- 取引先 : 自動車メーカー、建機メーカー、自治体、物流運送業等
- 国際認証 : ISO9001、ISO3842-2
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

商用車車体メーカーであり、1936年創業のKamal & Companyグループの中核企業。1948年からバスボディ製造を開始し、インドの車体架装業界の先駆者として発展してきた。現在はセミトレーラー、バス、救急車、消防車、特殊車両、自動車部品等の設計・製造を手掛ける。複数の製造拠点を有し、自動車メーカーや官公庁、物流事業者向けに幅広い製品を供給。近年は電動車両関連事業や機械加工・溶接設備の高度化にも注力している。長年培った設計・製造ノウハウ、充実した生産設備、インド市場での強固な販売ネットワークを強みとし、商用車分野における総合ソリューション企業として成長を続けている。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

日本企業との合併事業設立を最優先テーマとしている。対象分野はセミトレーラー、ティッパー、バス、EV、特殊用途車両、自動車部品および防衛向け輸送機器。技術移転やライセンス契約にも関心が高く、日本でしか入手しにくい高機能部材や先端部品の調達を希望している。軽量・高強度材料によるトレーラーの高積載化、バスの快適性向上、救急車や消防車向けの高度医療・救助設備、EV用バッテリー・電装品など幅広い技術領域への関心が高い。また設計ソフトや製造効率向上のための金型・治具などの導入にも関心あり。

■ 共同開発・技術提携

日本企業との技術提携や技術移転を通じて、商用車分野の競争力向上を目指している。対象はセミトレーラー、ティッパー、バス、EV、自動車部品などであり、日本の設計技術や製造ノウハウを活用した高付加価値製品の開発を希望する。軽量トレーラー技術、特殊用途トラック、電動トラック、交換式バッテリー技術、電動バス、最新型救急車・消防車、防衛産業向け特殊車両などが希望する商談テーマ。インド市場の成長性と同社の製造基盤を活用し、日本企業との長期的な技術協力関係を構築したい。

BIN18

エスエルエヌ テクノロジーズ

S.L.N. TECHNOLOGIES PVT. LTD

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ベンガルール（カルナータカ州）
 [他事務所] ー
 [HP] <https://www.slntech.com/>



フライトデータレコーダー



❖ 1600 Sq Ft Class 1,00,000 clean room
 ❖ IPC Certified manpower

モジュール組立・統合用の
クリーンルーム

- 設立年 : 1995年
- 資本金 : 1億4000万円
- 従業員数 : 130名
- 売上高 : 8億円
- 事業内容 : 電子機器の開発・製造受託および販売
- 主要製品 : 組込システム、FPGAデバイス、半導体検査装置、列線交換ユニット (LRU)
- 取引先 : 医療機器、自動車、航空宇宙、防衛関連等の各種メーカー
- 国際認証 : ISO9001、AS9100
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

各種電子回路・電子機器の開発および製造受託等を行っている企業。主な顧客は自動車・航空宇宙・防衛・医療機器産業であり、特に厳しい環境下で確実な動作を求められる機器、多層プリント基板やプログラマブル集積回路 (FPGA)、複雑なシステムインテグレーションを要求される機器等を得意分野としている。具体的な事例としては、インドの宇宙研究機関、国防研究開発機構といった公的機関や防衛・航空宇宙分野での代表的企業に製品を納入している。また、日本を含む海外企業の製品のインドでの代理店としても長い経験がある。今後更なるビジネスの拡大に向け、製造施設・設備への投資や海外企業との戦略的連携を積極的に進めているところ。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

自動車/EV、半導体、航空宇宙、防衛、医療機器といった分野で必要とされる電子機器について、インドでの製造を目的とした合併会社設立に関心のある日本企業との商談を希望している。

当社は、カルナータカ州政府の産業投資誘致政策 (Karnataka Single Window) により、今後2-5年にかけて大規模な製造インフラ (施設・設備・技術) のスケールアップを計画しているところであり、インドでの製造拠点の設立・拡充に関心のある日本企業からの投資および技術的な連携協力を歓迎したい。

なお協業のスキームについては、合併会社の設立のみにこだわるものではない。インドでの現地製造 (当社による製造受託) に向けた共同開発・技術提携や、あるいはその前段としての製品の輸入・流通 (当社が現地代理店となる) についても議論検討が可能である。

BIN19

オークラー テクノロジーズ

Auklr Technologies Pvt Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ベンガルール (カルナータカ州)
 [他事務所] ー
 [HP] <https://www.auklrcluster.com/>



5インチ
デジタルクラスター



車載デジタル機器クラスター



エンジニアリング／研究開発チーム

- 設立年 : 2021年
- 資本金 : 15万円
- 従業員数 : 20名
- 売上高 : 4000万円
- 事業内容 : 車両向け統合AIソリューション製造・販売
- 主要製品 : スマートエッジプラットフォーム、ADASビジュアライゼーション他
- 取引先 : 二輪車、三輪車、四輪車、商用車セグメントにわたる自動車メーカー
- 国際認証 : ISO 9001、ISO 14001、EU自動車安全指令 (2026年を目標)
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

当社は、エージェント型機械知能構造を構築するディープテック企業である。自社製ハードウェア (QCM6116 SoC、mmWave レーダー、FPD3 カメラ)、ソフトウェア (Android Automotive OS 14、AUKLR SDK、Unreal HMI)、および AI をシームレスに統合した革新的なフルスタック プラットフォームを提供する。当社の Smart Edge Platform は、従来の 3 つのシステム (クラスター + インフォテインメント + 安全) を備える 1 つの統合ボックスを提供し、部品コストを 30 ~ 40% 削減できる。エージェントAI エンジンには、50 を超えるセンサー、100 を超える車両パラメータ、25 を超えるペルソナ、25 を超える環境信号を処理する。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

TFT/LCDディスプレイ、タッチパネル、カメラモジュール、センサー、CAN/LIN通信機器、AIプロセッサ、接続モジュール (4G/5G/Wi-Fi/Bluetooth/GNSS)、高信頼性電子部品、高度なPCB技術、製造自動化ソリューション、機能安全規格準拠製品など、車載グレードの部品および技術を求めている。主に新製品開発プログラムおよび将来の車両プラットフォーム向けとなる。また、既存部品よりも性能、信頼性、品質、またはコストを向上させる優れた代替案についても検討する。

■ 共同開発・技術提携

スマートエッジプラットフォームを強化するため、日本のセンサーメーカー、半導体企業、車載エレクトロニクスサプライヤーとの技術提携を求めている。提携先として必要なのは以下の分野となる。(1) 4Dイメージングレーダー統合 (ミリ波技術)、(2) AI最適化エッジ処理チップ、(3) 先進的なカメラセンサー (FPD3技術)、(4) センサーフュージョンアルゴリズムとADAS機能、(5) 製造規模拡大を支援するサプライチェーンパートナーシップ。また、日本の自動車Tier1サプライヤーおよびOEMパートナー関連企業との共同開発パートナーシップの構築を目指している。共同開発分野は、(1) 高度なレーダー機能を備えたフェーズ2 ADASモジュール、(2) 2Wおよび3W車両向け死角検知システム、(3) 衝突警告および回避システム、(4) AIを活用した健康状態および疲労モニタリング、(5) OTAおよびテレマティクスプラットフォームの機能強化となる。

BIN20

セミコン デザイン テクノロジーズ

Semicon Design Technologies Pvt Ltd.

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ベンガルール（カルナータカ州）

[他事務所] コチ（ケララ州）

[HP] <https://www.semicondesign.com>

石油・ガス業界向け、シームレスなプライベートネットワーク



海事分野向けプライベートネットワーク



自動車、ワイヤレスモーション

- 設立年 : 2022年
- 資本金 : 20万円
- 従業員数 : 18名
- 売上高 : 980万円
- 事業内容 : 半導体チップ、IoTの開発
- 主要製品 : 自動車市場向け半導体チップの開発、COTSモジュールによるIoTソリューション
- 取引先 : 自動車、石油・ガス、海運、防衛
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は設立3年目で、チップレットアーキテクチャを用いた無線通信システムのシリコン開発コンサルティング事業を行っている。

主要事業は主に下記3分野。COTSベースのIoT通信ソリューションの開発、2Dヘテロジニアスにおけるモジュール型半導体チップの開発、OEMおよびODM向けカスタム車載シリコン開発。

研究開発チームを40名に増員する予定であり、自動車、石油・ガス分野でグローバル顧客/合併事業を獲得し、収益および企業価値の約8%向上を目指している。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

既存の自動車メーカーは、現在、従来型の半導体チップを調達しているが、ASIL A～D規格に完全に準拠した、真に自動車グレードの半導体チップの国内開発を目指している。また、自動車、ドローン、石油・ガス、農業向けにカスタマイズされた通信ソリューションとカスタマイズされたASICを用いたエッジコンピューティングを活用したIoTソリューションを開発の対象としている。現状の課題は、エッジコンピューティング向けシリコン開発や、そのためのシリコン開発のための先進ノードとの連携である。顧客として、日本のファウンドリ企業、自動車メーカー、IoTソリューションプロバイダーとのビジネス関係を構築するために、COTSによるIoTやファブレスシリコン開発に関連する企業との連携を希望する。

■ 共同開発・技術提携

IoTソリューションとシリコン開発の分野で、自動車およびドローンのグローバル顧客（サウジアラビア、米国、ドイツ、インド）へのサービス提供を行うための共同技術開発である。自動車業界の要求仕様に合わせたニッチな特性評価が必要とされる半導体製造工場（Rapidus）、日本の大手自動車メーカー、IoTソリューションプロバイダーへのアクセスと連携を目指している。

当社の体制は、開発全体を通してリーン・エンジニアリングモデルを採用し、全員が協力してソリューション全体の開発に取り組んでいる。

BIN21

ヴィアオー メタルズ Veer-O-Metals Private Limited

[参加予定者] 取締役
[本社] ベンガルール（カルナータカ州）
[他事務所] チェンナイ、フィリピン
[HP] <https://www.veerometals.com/>



自動プレス部品



ビル管理システム筐体



燃料ノズル

- 設立年 : 1965年
- 資本金 : 1800万円
- 従業員数 : 1700名
- 売上高 : 121億5000万円
- 事業内容 : プレス加工部品、精密板金加工、バスバー加工、機械加工、金属積層造形
- 主要製品 : 産業機器部品
- 取引先 : IT・データセンターインフラ、再生可能エネルギー、自動車・電気自動車、ネットワーク・通信
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、ISO 45001、ISO27001、AS9100D他
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

1965年に設立され、精密板金加工と機械組立におけるグローバルな技術リーダーである。インドとフィリピンにある最先端の設備を基盤に、強力な社内機械エンジニアリングチームが業界特有の設計ソリューションと堅牢な品質管理を提供している。プレス加工部品、機械加工部品、筐体、ITラックを専門としています。革新を原動力として、革新的な金属積層造形（金属3Dプリンティング）を統合し、治具や固定具を使用せずにCADモデルから直接複雑な工具やプロトタイプを構築することで業界をリードしている。この最先端の能力により、国内外で最も選ばれる製造パートナーとなっている。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

日本企業との共同開発・技術提携を希望する。市場調査、財務的実現可能性の評価、設計、プロトタイプ作成、初期生産数量に至るまで、技術的な協力関係を求めている。現在、インドとフィリピンに合計9つの製造拠点を有しており、エンジニアリング部門には50名以上のエンジニアが在籍している。期待分野は、以下の通り。

- ・チラーやデータセンターで使用するマイクロチャンネル熱交換器（MCHE）の開発に関して、日本の企業から技術協業を受けたいと考えている。データセンターやチラーを製造するOEM企業向けにこれらの部品を設計・供給した実績のある企業を求めている。
- ・電気式および空気圧式アクチュエータを専門とする日本企業からの技術協業を希望している。特に、ロボット工学や産業オートメーションで使用するサーボモーターおよびブラシレスDCモーターに関する技術協業を希望する。
- ・半導体用リードフレーム部品を製造する日本の企業を探している。DIP、QFP、QFMタイプのリードフレームの設計・製造経験があり、半導体OEMへの上記タイプのリードフレームの供給実績がある企業を希望する。

BIN22

バイディール システム

VDEAL SYSTEM LIMITED

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] ブバネーシュワル(オリッサ州)
 [他事務所] ー
 [HP] <https://vdealsystem.com/>



PCCパネル



PMCCパネル



MCCパネル

- 設立年 : 2009年
- 資本金 : 8億円
- 従業員数 : 105名
- 売上高 : 80億円
- 事業内容 : 電気機器・パワーエレクトロニクス機器製造
- 主要製品 : 電気制御盤、産業オートメーション
- 取引先 : 電力、金属、鋳業、製紙、重工業、建設、太陽光事業者
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、ISO50001/CPRI証明書
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

インド国立証券取引所(NSE)上場企業。先進的な電気、オートメーション、デジタルエネルギーソリューションの設計、エンジニアリング、製造、統合、試験、供給を手掛ける。低圧(LT)及び中圧(MV)電気盤、スマート/モジュール型開閉装置、配電システム、産業オートメーション、PLC/SCADAソリューション、IoT対応監視、エネルギー管理システム、EV充電インフラ、蓄電池エネルギー貯蔵システム(BESS)、再生可能エネルギー向け電気統合ソリューションを展開する。特に、BESS、EV充電、再生可能エネルギー機器、スマートグリッドソリューション、中高圧電気システムの分野において、グローバルパートナーとの技術提携、共同開発、合併事業に関心を持っている。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立(パワーエレクトロニクス分野/11kV、33kV、66kV、132kV、220kV)

11kVから220kVの電圧レベルに対応する先進的な電気機器及びパワーエレクトロニクス機器の設計、開発、製造、試験、商業化を目的とした合併事業の設立を希望する。真空遮断器、ガス絶縁開閉装置(GIS)、リングメインユニット(RMU)、開閉装置、保護システム、変電所設備等の製品に重点を置く。実証済みの技術、エンジニアリング専門性、製造インフラ、市場アクセスを組み合わせ、インド及びグローバル市場の公益事業、産業、EPC請負業者、再生可能エネルギー、インフラ、配電分野向けに、ソリューションを提供したい。

■ 合併会社の設立(BESS・EV充電ソリューション、再生可能エネルギー向け電気機器分野)

蓄電池エネルギー貯蔵システム(BESS)、EV充電ソリューション、再生可能エネルギー向け電気機器の設計、開発、製造、統合、試験、商業化を目的とした合併事業の設立を希望する。BESS、DC急速充電器、エネルギー管理システム、電力変換システム、太陽光及び再生可能エネルギー統合機器、保護盤、オートメーション、系統連系電気ソリューションに重点を置き、インド及びグローバル市場向けに展開して行きたい。

■ 共同開発・技術提携

11kVから220kVの電圧レベルに対応する先進的な電気・パワーエレクトロニクス機器の共同開発に向け、戦略的パートナーシップ・技術提携を積極的に推進したい。重点分野は、真空遮断器、GIS、RMU、開閉装置、高度な保護システムの開発である。インド及びグローバル市場を対象として現地に最適化された高品質かつコスト効率に優れたソリューションを提供して行きたい。

BIN23

マキノ インディア

Makino India Pvt Ltd

[参加予定者] 部長

[本社] ベンガルール（カルターナカ州）

[他事務所] 日本、シンガポール、米国、欧州

[HP] <https://www.makino.com.sg>

- 設立年 : 2001年
- 資本金 : 5900万円
- 従業員数 : 280名
- 売上高 : 25億3000万円
- 事業内容 : 生産機器の製造・販売
- 主要製品 : CNC加工機械、EDM機械
- 取引先 : 自動車（乗用車・商用車）、金型、航空宇宙メーカー
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、ISO45001、CE safety spec for few models
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

高精度工作機械と先端製造技術の世界的リーダー。1937年に日本で創業、インドに最先端の製造施設と技術センターの法人を設立し、30年以上にわたりインド事業の中枢拠点となっている。総合ソリューションを提供する取り組みとして、インドに世界最大級の治具工場も設立した。顧客にアクセスしやすくするために、デリー、プネ、チェンナイ、コインバトールにもテクノロジーセンターを設置。また、最先端の技術トレーニングセンター（MTTC）をCSR活動として活用し、若手の認定取得エンジニアを対象にスキル向上のための教育を行い、即戦力として製造業の現場で活躍できるよう支援している。



当社製品とターンキー用品



当社の施設

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

工作機械アクセサリーの代理店契約を結びたい。切削工具、ツールホルダー、油圧治具部品、潤滑システム、オートメーション部品、マイクロスイッチ、センサー等の産業製品を探している。これらの製品は、機械の統合やサービスサポートのために社内でする目的もある。

■ 共同開発・技術提携

工作機械用アクセサリー、オートメーション、ロボット統合、インダストリー4.0ソリューション、工具技術、治具システム、予知保全、機械モニタリング、高度な製造プロセス技術の専門知識を持つパートナーと協業したい。協業範囲は、製品デザイン、インド市場向けのカスタマイズ、プロトタイプ開発、プロセス改善、機械の統合、自動化ソリューション、技術移転、エンジニアリングサポート、トレーニングプログラム、商業化活動など。

■ 日本企業への生産委託

リニアガイド、ボールねじ、コントローラー、工作機械用アクセサリー、工具システム、オートメーション部品、油圧治具部品、潤滑製品、センサー、スイッチ、関連する工業製品など、工作機械の基本部品を生産委託したい。詳細な技術仕様や申請要件、性能の期待値、関連する工学データはNDA締結後共有する。

BIN24

プラシャンティ エンジニアリング ワークス Prashanti Engineering Works Pvt. Ltd.

[参加予定者] 取締役

[本社] ピタンプール（マディヤ・プラデーシュ州）

[他事務所] ー

[HP] <https://prashantiengg.com/>

[会社概要]

自動車、建設機械、産業機械向けの高精度部品製造を手掛ける金属加工事業者。IATF16949認証を取得し、約7万平方フィートの生産工場にCNC旋盤、立形・横形マシニングセンタ、研削、溶接、検査、組立設備を保有。精密CNC加工、溶接、製缶、組立まで一貫対応できることが特長であり、大手企業への供給実績も豊富。近年は自動車に加えて産業機械や高付加価値エンジニアリング分野への事業拡大を進めており、自動化やスマートファクトリー技術の導入にも積極的。日本企業との連携を通じ、世界水準の精密加工技術と品質管理体制をさらに強化し、国際競争力の高い製造パートナーとなることを目指している。

- 設立年 : 1995年
- 資本金 : 500万円
- 従業員数 : 100名
- 売上高 : 3億8000万円
- 事業内容 : 金属加工業
- 主要製品 : 精密CNC加工部品、産業機械設備、製缶品、組立品
- 取引先 : 商用車製造業、建設機械製造業、産業機械製造業
- 国際認証 : IATF16949
- 日本企業との取引経験 : ー

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

日本から高度な製造技術を導入し、品質、生産性、精度の向上を目指したい。対象技術は工場自動化、ロボット、リーン生産方式、AI・IoT活用、スマートファクトリー、検査技術など幅広い。MES、生産モニタリング、OEE改善、予知保全、AIによる生産計画、品質管理システム等の導入に意欲的。

■ 共同開発・技術提携

精密機械加工、自動車部品、産業機械、製造自動化、治工具などを強みとする日本企業との長期的な技術・製造面での提携を希望。主な目的は、受託製造、精密部品の共同開発、日本製品のインド現地化。当社が有する炭素鋼、合金鋼、ステンレス、アルミ材の加工実績や設備を活用し、日本企業がインド市場で生産・調達体制を構築する際のパートナーとなり得る。

また、従来の自動車部品加工から高付加価値な精密エンジニアリング分野へと事業拡大中。日本企業との協業により、産業機器、精密組立品、製缶品、エンジニアリング製品の製造や輸出向け事業を育成したい。また、日本企業が保有する技術や製品をインドで現地化し、新製品開発や技術移転を通じて成長分野への参入を図りたい。



工場外観



場内風景



Engine Front and Rear Plates

Clutch Quill, Housings, Inlet & Exhaust Manifolds



Hydraulic Pump Assembly for Caterpillar USA

Bottom Cover Housings

製品ラインアップ

BIN25

アディソン ハイドロリクス インディア Adison Hydraulics India

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ベルガウム（カルナータカ州）
[他事務所] ー
[HP] <https://adisonflow.com>



PLC制御流体試験装置



流体ポンプ・バルブの試験装置



当社工場

- 設立年 : 2017年
- 資本金 : 1500万円
- 従業員数 : 9名
- 売上高 : 7億円
- 事業内容 : 高圧試験装置、油圧試験設備
特殊試験設備の設計・製造・販売
- 主要製品 : 耐圧試験装置、油圧試験システム、バルブ・ポンプ・アクチュエータ用テストベンチ、鋳鉄管試験設備等
- 取引先 : バルブ・油圧機器製造業、自動車製造業、鋳鉄管製造業等
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

高圧・圧力の試験設備を設計・製造するエンジニアリング企業。最大3000barの耐圧試験装置、最大2800barの油圧試験システムをはじめ、試験装置、バルブ・ポンプ・アクチュエータ用テストベンチ、ガスシリンダ・ダクタイル鋳鉄管向け設備を提供。機械、油圧・空圧、PLC/HMI/SCADA、データ収集を一体化し、設計から製造、据付、試運転までをターンキーで担える点が強み。バルブ、流体動力、航空宇宙・防衛、自動車、エネルギー、認証機関など幅広い分野に対応し、顧客課題に合わせた特殊機・自動化ライン、製品検証サービスを提供。品質、性能、革新を重視し、複雑な課題を実用的な設備へ落とし込むカスタムエンジニアリング力を特長とする。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

日本の高度な流体試験・自動化技術をインド市場へ展開するため、試験装置メーカーとの共同開発・技術提携を希望する。対象は、自動車研究施設向け高機能試験設備、産業用バルブ向け耐圧試験装置、油圧試験設備など。完成装置に加え、機械設計、PLC/HMI/SCADA、データ収集、校正、データ分析、制御ソフト、重要部品・サブシステムにも関心がある。

日本企業の技術を活用したインドでの製造、組立、組み込みなどの共同事業を構想しているが、完成品の現地での販売代理を含む連携を検討したい。商談相手は試験装置メーカーだけでなく、ポンプ、バルブ等の製品メーカーも想定し、技術協業と新規事業機会の双方を探る。長期的な市場展開と製品競争力向上につなげたい。

BIN26

ストラテジ オートメーション ソリューションズ Strategi Automation Solutions Pvt Ltd.

[参加予定者] 取締役

[本社] ベンガルール（カルナータカ州）

[他事務所] ー

[HP] <https://strategiautomation.com/>

設備導入事例 1



設備導入事例 2

- 設立年 : 1996年
- 資本金 : 3800万円
- 従業員数 : 70名
- 売上高 : 3億8000万円
- 事業内容 : 自動化設備、ロボットシステム
および動作制御機器の設計・製造
- 主要製品 : マシンテンディングロボット、
自動組立装置、自動検査装置等
- 取引先 : 自動車関連業、電子機器製造業、
医薬品製造業、消費財製造業等
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

産業用オートメーション企業で、動作制御、ロボティクス、FAを中心に事業を展開。機械設計、電気設計、ソフトウェア開発、製造、組立、システム統合、アフターサービスまで一貫対応できる体制を有し、自社製の自動組立装置、自動検査装置を提供。

日本を含む各国の産業用モータ、サーボシステム、ロボット、PLC、センサー等の販売・技術サポートも手掛ける。インド全土に販売・サービス網を持ち、自動車、EV、電子機器、半導体、工作機械、食品・飲料、医薬品、物流など幅広い産業にソリューションを提供。豊富な実績とシステム統合能力を強みとして、日本企業との提携やインド市場展開パートナーとなることを目指している。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

日本企業との販売代理契約を希望。現在も日系大手ブランドを多数インド市場で取り扱っており、新たな製品ポートフォリオの拡充を目指している。特にリニアモータ、ダイレクトドライブモータ、EV用モータ、BLDCモータ、特殊用途モータ、マシンビジョン製品に関心がある。これらは主に自動化設備向け用途であり、自動車などの最終製品向けではなく、生産設備への組み込みを想定している。

■ 共同開発・技術提携

自社開発のCNC旋盤向けマシンテンディングロボットを軸として、日本企業との技術提携や将来的な合併事業を検討。対象分野はマシンテンディングロボット、プレス工程自動化、樹脂成形工程自動化、検査装置、組立自動化など。冷間鍛造、熱間鍛造、鋳造、射出成形、工作機械向けのニッチな自動化技術を持つ企業との協業を希望。

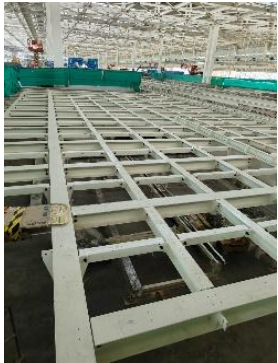
また、PCB、半導体、EMS、EV関連産業向けの高度自動化設備に関する技術協力を期待。特にマシンビジョン技術との連携に強い関心を持ち、電子部品検査や品質保証用途で活用できる高度な画像解析技術を求めている。キズ、打痕、バリ、表面欠陥などを高精度かつ安定的に検出できる画像検査システムに関心がある。

BIN27

コンベル エンジニアリング

Conbell Engineering Private Limited

[参加予定者] 部長
 [本社] カロル（グジャラート州）
 [他事務所] ー
 [HP] <https://www.linkedin.com/in/conbelleng>



自動車シャーシライン用
コンベヤ構造



自動車シャーシライン用
コンベヤ構造



自動車シャーシライン用
コンベヤ構造

- 設立年 : 2023年
- 資本金 : 2億800万円
- 従業員数 : 40名
- 売上高 : 1億3300万円
- 事業内容 : 総合エンジニアリングソリューション
- 主要製品 : プラント、コンベヤー、マテリアルハンドリングシステム等
- 取引先 : 自動車、食品加工、倉庫・物流、医薬品、一般製造業
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

産業機械製造、重工業、搬送設備及びコンベヤーの設計・製造を専門とするエンジニアリング企業。設計、製作、据付、試運転から、工場設備の保守・移設、プロジェクト管理まで一貫して対応可能である。構造用鋼材の加工、コンベヤーシステム、マテリアルハンドリング設備、作業用プラットフォーム、通路、機器用途の架台、顧客仕様に応じた特注設備等、幅広いソリューションを提供する。豊富な現場経験、精密製造技術、品質・安全管理、納期遵守を強みとして、お客様の生産性向上と安定操業を支援する。海外展開面では、米国テキサス州に「Suraj Metal LLC 社」を設立し、北米市場における営業、マーケティング、顧客支援、プロジェクト調整の拠点とする計画である。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

合併会社設立を通じた長期的な戦略提携を基に、技術力、品質管理、市場開拓力を強化して行きたい。パートナー企業には、先進的な製造・自動化技術、設計・製品開発、品質管理、リーン生産方式、人材育成、国際市場へのアクセスを期待する。当社は、インドの製造設備、熟練人材、コスト競争力、現地の顧客・調達ネットワーク、プロジェクト遂行力の面で貢献できる。合併会社では、設計、製造、販売、マーケティング、据付、アフターサービス、新製品開発まで一貫して担い、日本の技術・品質基準と当社の現地対応力を融合させたい。当初はインドの自動車・マテリアルハンドリング市場開発を優先し、物流、食品加工、FMCG(日用消費財)、一般製造業にも展開、将来的には米国法人を活用して北米市場にも進出し、東南アジアや中東への輸出も目指したい。

■ 共同開発・技術提携

世界基準に適合する高性能な搬送・コンベヤーシステムの開発に向け、日本企業との共同開発・技術協力を希望する。パートナーには設計・製品開発、搬送・自動化技術、リーン生産方式、品質管理、技術研修等の面で高度な知見を期待している。当社は製造設備・技術、熟練人材、コスト競争力、現地調達網、プロジェクト遂行力、インド市場の顧客基盤に加え、据付・試運転、アフターサービス面で貢献できる。まずインドの自動車・マテリアルハンドリング分野を重点市場とし、将来は食品加工、倉庫、一般製造業に展開、米国、東南アジア、中東向け輸出を目指す。

BIN28

アンサー ロボティクス

ANS CER Robotics

[参加予定者] 取締役
 [本社] ベンガルール（カルナータカ州）
 [他事務所] 米国（テキサス州）
 [HP] <https://anscer.com>



自動搬送ロボ(AMR)

- 設立年：2020年
- 資本金：11億2500万円
- 従業員数：80名
- 売上高：1億5000万円
- 事業内容：自律走行搬送ロボットおよび工場内物流自動化ソリューションの開発
- 主要製品：自律走行搬送ロボット(AMR)
- 取引先：電子機器製造業、自動車関連業、物流業
- 国際認証：ISO3691-4（取得準備中）
- 日本企業との取引経験：有

[会社概要]

産業用ロボティクス企業。設立以来、自律走行搬送ロボット（AMR: Autonomous Mobile Robot）と工場内物流の自動化ソリューションを提供。独自開発のAMRに加え、材料搬送や生産物流を統合管理する「Mizukumo Business Applications Platform」を展開し、製造現場におけるJIT生産の実現を支援。ERP、MES、WMS、PLC、IoTシステムと連携可能なソフトウェア基盤を持ち、自動車、電子機器、航空宇宙、FMCG、物流業界など幅広い分野へ導入実績を有する。ロボット設計、製造、フリート管理、ソフトウェア開発、保守までを一貫して提供できることが強みであり、インド国内外でスマートファクトリー化と工場内物流の効率化を推進している。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

日本市場向けにAMRおよび工場内物流自動化ソリューションを展開するため、日本企業との合併事業設立を希望。対象はSIer、FA企業、産業機械メーカーなどであり、同社のAMR技術と日本企業の知見や顧客基盤を組み合わせた事業展開を目指す。また、AMRとMizukumoプラットフォームを活用し、日本の製造業および物流事業者への導入を推進したい。対象分野は自動車、航空宇宙、防衛、化学、消費財製造、物流センター、3PL事業者などで、工場内物流やマテリアルハンドリングの自動化による生産性向上を提案する。工場自動化を支援する企業や物流企業、複数工場・倉庫を保有する企業との連携を想定。

■ 共同開発・技術提携

共同開発分野としてモータ、アクチュエータ、LiDARセンサーなどの中核部品の共同開発に関心高い。日本国内での事業運営、保守サービス、部材調達を現地パートナーと連携しながら進めたい意向を示しており、日本における持続的な事業基盤の構築を重視した提携を希望している。



AMRの製造現場

BIN29

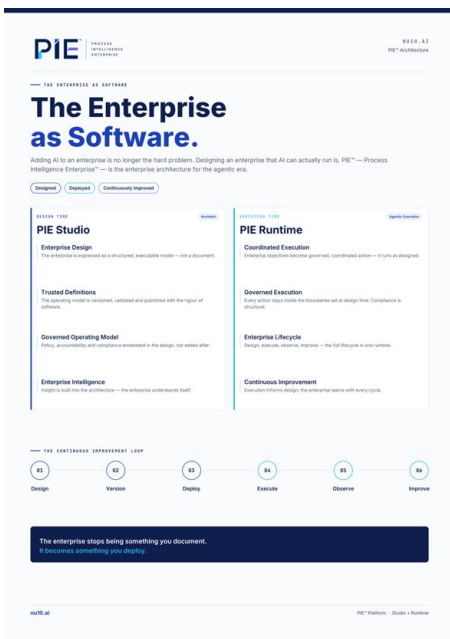
ヌーテン テクノロジーズ

Nu10 Technologies Pvt.Ltd

[参加予定者] 取締役
 [本社] ベンガルール（カルターナカ州）
 [他事務所] 米国
 [HP] <https://nu10.co/>



会社ロゴ



当社基幹プラット
フォームPIE

- 設立年 : 2020年
- 資本金 : 1800万円
- 従業員数 : 220名
- 売上高 : 3億4000万円
- 事業内容 : ソフト開発・販売
- 主要製品 : AI関連ソフト
- 取引先 : フィンテック関連企業、ヘルスケア関連企業
- 国際認証 : ISO 27001:2022、CMM Level 3
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

220人規模の会社で、企業向けAI製品とプラットフォーム、データサイエンス、データエンジニアリングに注力。エージェントAI、機械学習、フォワードデプロイドエンジニアリングを活用したインテリジェントエンタープライズシステムの設計と展開を行っている。主力プラットフォームであるProcess Intelligence Enterprise (PIE™) は、エージェントAIの設計、展開、ガバナンス、継続的改善をサポートする。金融サービス、医療、保健業界の顧客にサービスを展開している。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

企業向けAIソリューションの共同開発を行いたい。日本のエンタープライズAIソリューション関連企業と組み、AIネイティブとなるソリューションを共同で開発したい。協力可能な分野は、企業向けAI戦略とAI準備度評価、従業員向けAIコパイロット、企業データプラットフォーム、知的プロセス自動化、レガシーシステムのモダナイゼーション、AIガバナンスと責任あるAI、マルチエージェント企業システムなど。ニーズ発掘、ワークショップ、要件分析、ソリューション設計は日本で行い、一方で、エンジニアリング、AI開発、テスト、エンタープライズ導入は当社のインドにあるエンジニアリングセンターからサポートを想定している。

BIN30

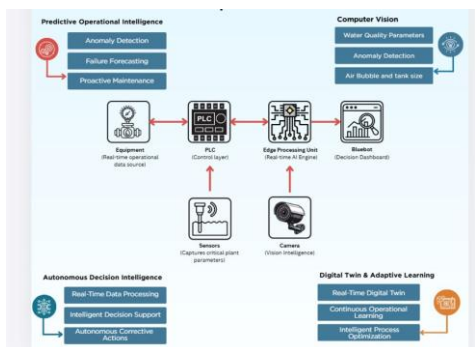
ペアリーエーアイ ソリューションズ

ParyAI Solutions Pvt Ltd

[参加予定者] 代表取締役

[本社] マイソール（カルナータカ州）

[他事務所] デリー、チェンナイ、ブネー等

[HP] <https://www.paryai.ai>

pAIoneer アーキテクチャー



エージェント型AIエッジプラットフォーム



会社ロゴ

- 設立年 : 2025年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 45名
- 売上高 : 2300万円
- 事業内容 : ソフトの開発・販売
- 主要製品 : 自律・自己学習型AI水処理・排水処理プラットフォーム
- 取引先 : 工業施設、商業施設、都市自治体／市町村
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

インドのディープテックスタートアップで、水処理・廃水処理プラント向けの自律型自己学習AIコーパイロット

『pAIoneer』を開発している。Agentic AI、コンピュータビジョン、エッジインテリジェンスを融合させることで、pAIoneerは常に状態を感知・推論・行動し、濁度やスラッジの挙動、タンクの状態を視覚的に推測、設備の故障を予測し、PLC統合を通じて直接是正措置を実行している。チームは環境工学、産業オートメーション、AI/MLの専門知識を兼ね備え、JSW、トヨタ、タタスチールでの経験もあり。これまでインドの4州にある30以上のプラントで40件のプロジェクトを完了し、一貫して規制準拠の水質を確保している。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

水処理・排水処理用高度な技術部品を調達したい。特に水質モニタリング（濁度、溶存酸素、pH、流量）用の高精度カメラ、ビジョン機器、センサー、さらにPLC、SCADA機器、IoTゲートウェイ、産業用アクチュエータなど。まず10～20台のパイロットユニットの評価から始め、実際の運用条件下での性能と適合性を確認し、検証が成功し、展開パイプラインが拡大すれば、年間100台以上の調達が見込まれ、毎年30以上の新しい水・廃水処理プラントの導入を支援することになる。

■ 共同開発・技術提携

産業用IoTセンサー、水質計測機器、PLC/SCADAオートメーション、またはAI駆動の予知保全を専門とする日本の技術企業と組み、自社のAI/MLソフトウェアと高度な日本製センサーやオートメーションハードウェアを統合することで、下水処理プラント向けの自律AI・コンピュータビジョンシステムであるpAIoneerプラットフォームを共に強化することを目指す。この協業を通じて、日本企業に対して、当社現地プレゼンスを活用したより大きなインドの水処理市場へのゲートウェイを提供すると同時に、精密ハードウェアや技術専門知識にアクセスする機会になると考えている。

BIN31

オプティマイズ マイ データ

Optimize My Data

[参加予定者] 取締役

[本社] ベンガルール（カルナータカ州）

[他事務所] ー

[HP] <https://www.optimize-mydata.com/>

当社DXサービス



当社DXサービス

- 設立年 : 2021年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 7名
- 売上高 : 200万円
- 事業内容 : IT関連コンサル
- 主要製品 : ERP/CRM/FSMの導入、ウェブや統合サービス
- 取引先 : 電気工事業者、食品・飲料メーカー、機械・エンジニアリング会社
- 国際認証 : Zoho関連資格、MSME
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

ベンガルールに拠点を置くテクノロジーコンサルティング会社で、産業機械、機械工学サービス、食品・飲料／パルプ製造業のインド中小企業向けにデジタルトランスフォーメーションサービスを提供している。ZohoベースのERP、CRM、フィールドサービスをカスタムウェブアプリケーション、統合、ワークフロー自動化と組み合わせた統合型ビジネスシステムを設計・導入している。大手クライアント向けに、営業、製造、在庫、アフターサービスをカバーするプロセス重視の導入を行ってきた。当社の強みは、深いプロセス理解、アジャイルな提供、そして中小企業向けの長期的なマネージドサービスである。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

インドの中小企業向けのデジタルトランスフォーメーションプロジェクトに組み込める製品を持つ日本の中小企業との代理店契約やソリューションパートナー契約を締結したい。産業用機械、製造技術、工場自動化ソリューション、食品加工機器、品質管理システム、IoT対応デバイス、そしてデジタルトランスフォーメーションの取り組みを補完するエンジニアリング製品に興味がある。製品は信頼性が高く、量的な余裕があることが望ましい。

■ 共同開発・技術提携

産業機械、工場の自動化、食品加工技術、エンジニアリングソリューション、IoT対応機器、品質管理システム、スマート製造に関する専門知識を持つ日本の中小企業と技術協力を行いたい。特に、ERP、CRM、在庫管理、フィールドサービス管理（FSM）ソリューションなどのデジタルビジネスプラットフォームと統合可能な製品を持つ会社に興味がある。協業の目標は、実績のある日本の技術と、当社のソフトウェア導入、システム統合、ローカライズ、カスタマーサポートの専門知識を組み合わせ、インドの中小企業向けに市場対応型ソリューションを共同開発したい。

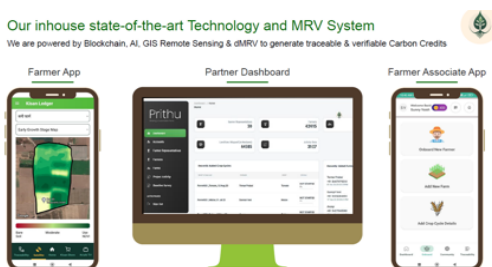
BIN32

ヒューマン ファースト グローバル Human First Global Private Limited

[参加予定者] 代表取締役
[本社] グルグラム（ハリヤーナ州）
[他事務所] チャッティースガル州他
[HP] <https://prithu.earth/>



カーボン除去実例



測定検証システム

- 設立年 : 2024年
- 資本金 : 1億8000万円
- 従業員数 : 25名
- 売上高 : 300万円
- 事業内容 : 環境関連開発
- 主要製品 : 炭素除去プロジェクト
- 取引先 : 公的機関、一般企業
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

当社は、2024年に設立された環境対応を主事業とする企業にて、特に大規模な炭素除去プロジェクトを開発している。35,000人以上、農地にして5万ヘクタール以上を保有する農家と直接的な協業をし、2030年までに2000万トンの二酸化炭素の除去を目標としている。当社のポートフォリオは再生農業、土壌炭素除去、再生林、稲作の交互湿潤乾燥にも及ぶ。また、当社の中核的強みは、AI、IoT、衛星画像、ブロックチェーンに加え、炭素を高精度で測定、検証するプラットフォームを保有、更に炭素クレジットを提供できる点。機関投資家の支援をうえ、事業を拡大中。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

当社の農業環境事業に対応できる熱分解炉、炭化システム、土壌・水分センサー、IoTデバイス、水管理ハードウェア、デジタルプラットフォームを強化するリモートセンシングや分析ツールにつき日本企業からの購入を検討したい。当社は、農家生産者組合や、カーボンバイヤーとなるインド企業と関係を構築しており、顧客に直接機器を調達・配備している。日本企業の技術をインド市場に大規模に導入、当社事業を更に拡大していきたい。

■ 共同開発・技術提携

当社は熱分解およびバイオマス炭化装置、土壌・農業感知、環境測定分野で日本のパートナーを求めている。インド小規模農業向けの炭素除去技術の共同開発と現地化を目指している。熱回収システム、バイオマスシステム変換装置、環境関連分析機器、IoT・センサーメーカー、化学関連、水管理に関連する製造業者、あるいはインド現地化に協力できるエンジニアリング企業・商社との協業を念頭においている。急速に成長するインドの脱炭素化、再生農業市場に参入したい、という企業と是非事業を進めたい。

BIN33

ロズバーシティ

Rosversity Private Limited

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] コチ（ケララ州）
 [他事務所] ー
 [HP] <https://rosversity.com/>

[会社概要]

産業、インフラ、サステナビリティ、エンタープライズアプリケーション向けにAIを活用したデジタルツイン技術の開発に注力するインドのディープテック企業。主力プラットフォームであるNueroïdは、物理資産、運用ワークフロー、人工知能、産業用IoT、サイバーセキュリティ、ガバナンス、サステナビリティ管理を統合したインテリジェントなデジタルツインを、組織が迅速に構築することを可能にする。相互運用性、オープンな統合、長期的な保守性、そして可能な限り国際標準への準拠を重視している。

- 設立年 : 2022年
- 資本金 : 2万円
- 従業員数 : 5名
- 売上高 : 1500万円
- 事業内容 : エンジニアリングサービス提供
- 主要製品 : AI搭載デジタルツイン構築プラットフォーム
- 取引先 : 製造業、研究機関、政府機関
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

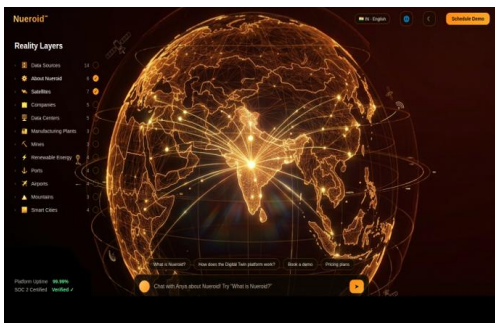
ロボット、産業オートメーション、計測機器、環境技術、プロセス制御システムの分野における日本のメーカーとの販売代理店の機会を求めている。高品質な日本製品をインド市場で展開し、当社のNueroïdデジタルツインプラットフォームと統合することで、インテリジェントなモニタリング、自動化、予知保全、サステナビリティレポート、ライフサイクル管理を実現することを目指している。

■ 合併会社の設立

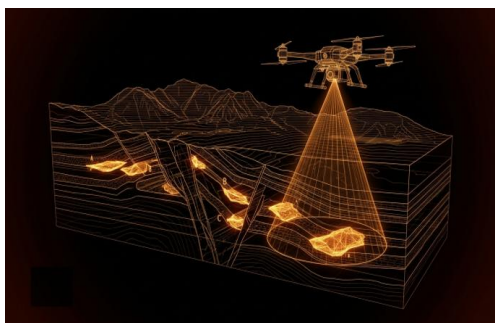
持続可能なインフラストラクチャを専門とする日本のテクノロジー企業と、長期的な戦略的パートナーシップおよび合併事業を構築することを目指している。産業オペレーション、ロボティクス、サステナビリティ、サイバーレジリエンス、ガバナンスを統合した運用エコシステムを実現するAI搭載デジタルツインプラットフォームを開発している。特に、CBGプラントの自動化、水からエネルギーへの変換管理、産業プロセスの最適化、スマートマニュファクチャリングにおける協業に関心がある。

■ 共同開発・技術提携

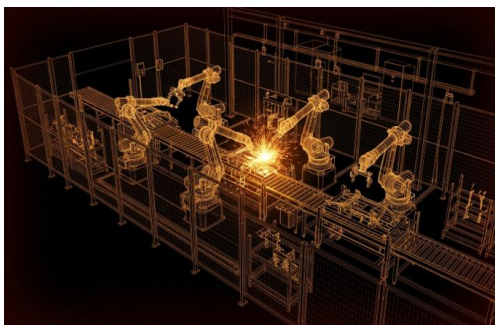
日本のロボティクス、オートメーション技術、センサー、エンボディドAI機能をNueroïdエコシステムに統合することで、次世代ソリューションを共同開発することに関心がある。目標は、インド、日本、グローバル市場にて、インダストリー5.0の推進と持続可能なデジタルトランスフォーメーションに貢献すること。



Nueroïd – デジタルツインプラットフォーム



ドローンを活用した3Dマッピング



AI搭載ロボット
製造デジタルツイン

BIN34

エリテック ソリューションズ アンド サービスーズ ELITEC SOLUTIONS AND SERVICES PTV LTD

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ベンガルール（カルナータカ州）
[他事務所] ー
[HP] <https://www.FreshOn.in>



インド・ベンガルールで
展開中のFreshOn.オーガ
ニック小売店

- 設立年 : 2014年
- 資本金 : 16万円
- 従業員数 : 35名
- 売上高 : 4億2000万円
- 事業内容 : 有機食品の小売業
- 主要製品 : 有機食品、スナック、雑穀
- 取引先 : 一般消費者
- 国際認証 : PGS India
OrganicCertification、FSSAI
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

ベンガルールに拠点を置く健康・オーガニック食品の会社で、有機食材、コールドプレスオイル、伝統的な穀物、雑穀、スパイス、ナチュラルフード、ウェルネス製品等を扱い、消費者に直接、本物で化学物質フリーの食品を提供することに注力している。より健康的な食のエコシステムを作るというミッションのもと、持続可能で責任ある農業を实践する信頼できる農家や生産者と密に協力している。当社の強みは、厳格な商品選定、トレーサビリティ、品質確認、そして消費者からの信頼にある。ベンガルール最大級の単一ブランドのオーガニック・ヘルシーフード小売店、eコマースを運営している。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

オーガニックでナチュラルな日本の食材・食品を調達したい。抹茶や発酵食品（例えば味噌）、海藻ベースの商品、ナチュラルスナック、その他の健康食品などを調達し、当社の小売店やEコマースプラットフォーム（FreshOn.in）を通じて販売し、インドの消費者向けにオーガニック／ウェルネス製品のラインナップを多様化したい。プライベートブランドやOEM包装も対応可能。最初は非独占販売代理店契約から始め、関係が進むにつれて特定の製品カテゴリの独占権について話したい。

■ 合併会社の設立

日本での健康・オーガニック食品の小売／流通の拠点を作りたい。求めるパートナーは、日本の食品輸入規制や消費者の好みに詳しいパートナー。オーガニック製品の賞味期限を延ばす食品加工や包装技術の知識もあればなお良い。当社は現在、探索段階にあり、適切なパートナーと適切な投資規模について話し合う準備がある。



CEOと有機農産物農園

BIN35

アールエス フード インダストリーズ

R S Food Industries

[参加予定者] 取締役

[本社] ラクナウ(ウッタル・プラデーシュ州)

[他事務所] バラーバンキー(ウッタル・プラデーシュ州)

[HP] <https://vavafoods.in>

粗挽き穀物由来製品



雑穀由来製品



大豆由来製品

- 設立年 : 2014年
- 資本金 : 2700万円
- 従業員数 : 45名
- 売上高 : 2億2500万円
- 事業内容 : 健康食品製造
- 主要製品 : 雑穀由来パスタ・マカロニ・バーミセリ、大豆製品等
- 取引先 : 飲食料品、日用消費、小売、卸売・流通、法人顧客、Eコマース
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

ウェルネス、予防医療、持続可能な生活を促進し、科学的根拠に基づく栄養ソリューションの開発に取り組む企業。主力ブランド「VAVA Foods」の下、革新的なスーパーフード、機能性栄養食品、高付加価値な健康食品開発を進める。インドの豊かな農産物の伝統と現代的な食品加工技術を組み合わせ、健康志向の現代消費者に向け、穀物、きのこ、植物由来原料、その他機能性食品を活用した栄養価の高い製品を提供する。製品研究・処方開発、食品加工、OEM製造、カスタマイズ製品開発、衛生的な包装、国内外市場向けの拡張可能な製造体制が強み。変化する世界の食品基準に対応するため、製品イノベーション、品質保証、持続可能な製造体制への投資を継続している。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

スーパーフード、機能性食品、ニュートラシューティカル(Nutraceuticals)原料、健康志向のスナック、プレミアムウェルネス製品を手掛ける日本企業との長期的な販売店契約及び市場開拓パートナーシップ関係の構築を希望する。当社からインドの食品業界に関する知見、製造ノウハウ、インド全土における市場適応、規制対応、拡大する販売ネットワーク活用を提供し、日本企業のインド市場への参入と事業拡大を支援する。

■ 日本企業からの購入

脱水・凍結乾燥システム、製粉・粉碎機、混合・ブレンド装置、自動包装ライン、品質検査システム、付加価値を高める食品加工機械等、高度な食品加工設備を探している。対象となる設備は、食品用ステンレス鋼で製造され、国際的な安全基準に準拠し、エネルギー効率に優れると同時に高い生産性を備えていること、また、包括的な技術サポートとアフターサービスの提供が求められる。

■ 合併会社の設立

次世代のスーパーフード及び機能性栄養食品開発のために、日本の食品メーカー、食品技術企業、ニュートラシューティカル分野の革新的企業、先進的な食品加工設備メーカーとの戦略的な合併事業を希望する。穀物、きのこ類、その他の植物由来原料を含むインドの豊かなスーパーフードの伝統と、日本が強みを持つ食品科学、バイオテクノロジー、精密製造、自動化、持続可能な包装・資材、品質管理システムを融合し、予防・栄養学の分野で世界的に認知される企業になることを目指している。

BIN36

アマール スプリント

AMAR SPLINTS PRIVATE LIMITED

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] シャムリー（ウッタール・プラデーシュ州）
 [他事務所] ー
 [HP] <https://www.amarindustries.org/>



工場前景と場内の様子

- 設立年 : 2011年
- 資本金 : 1500万円
- 従業員数 : 1000名
- 売上高 : 29億4000万円
- 事業内容 : マッチ、線香、食品用プラ包装資材の製造・販売
- 主要製品 : マッチ、線香、包装資材、容器
- 取引先 : 食品製造業、乳製品、アイスクリーム製造業等
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

食品用包装資材を製造する企業。マッチ、線香、木製スプーン・カトラリーに加え、乳製品、アイスクリーム、食品向けのプラスチック容器や紙製包装を幅広く手掛ける。熱成形、射出成形、IMLなどの生産技術を有し、20万平方フィートの自動化設備と防湿倉庫を活用して、品質の安定した大量生産と迅速な供給に対応。国内大手企業への販売に加え、10か国以上への輸出や、欧州や日本からの原材料調達など国際取引にも明るい。品質、納期、顧客ニーズへの柔軟な対応を強みとし、持続可能な材料、自動化、先進的な品質管理への投資を推進。日本企業との技術連携や共同開発を通じ、食品包装および飲料分野での高付加価値製品の創出を期待。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

乳製品、アイスクリーム、食品向け包装製品の品質、生産効率、持続可能性を高めるため、日本企業から高品質な食品包装に利用できる再生HIPS、PP、PSなどの材料や、射出成形機、熱成形機、工場自動化設備などを調達したい。主に性能が安定した再生材を希望するが、価格条件が合えばバージン材も対象とし、原料はペレット購入と自社ペレット化の双方が可能。現在は目視中心の品質検査を、マシンビジョンやAI検査へ高度化する意向もある。乳製品包装用として1～10リットル容器向けの金型5～6型を既に選定しており、早期導入を検討中。大口需要に対応するため調達先を複数化し、技術支援を含む長期的な協力関係を希望。

■ 共同開発・技術提携

日本企業の技術力と当社の製造設備、市場知識、人材、企業とのネットワークを組み合わせ、インドでの製造提携または合併事業を構築したい。対象はプラスチック包装に加え、インド北部で需要が期待される包装済みサトウキビジュース。容器供給だけでなく、ジュース自体の製造への参入を計画しており、現在は技術パートナーと初期試作段階にある。特に品質、安全性、賞味期限を確保するための殺菌技術と包装技術への関心が高い。飲料メーカーや関連技術企業と、生産システム、品質管理、包装ソリューションを共有し、インド国内外向けの商品を共同開発する長期的な事業関係を希望。



製品群

BIN37

シュリージ インターナショナル インダストリーズ Shreeji International Industries

[参加予定者] 代表取締役

[本社] ラクナウ(ウッタル プラデーシュ州)

[他事務所] ー

[HP] <https://www.splhomeware.com/>

最新鋭の機械を備えた生産工場

HASS VF4及びVF5
精密製造機器

- 設立年 : 2006年
- 資本金 : 5100万円
- 従業員数 : 200名
- 売上高 : 9億9700万円
- 事業内容 : プラスチック製家庭用品製造
- 主要製品 : プラスチック製家庭用品・保温・保冷容器(サーモウェア)
- 取引先 : 家庭用品卸売・小売業者及び自動車産業
- 国際認証 : ISO:9001:2015
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

プレミアムなプラスチック製家庭用品及び保温・保冷容器(サーモウェア)のメーカー。最新鋭の自社工具室を保有、金型設計・開発・製造・保守から精密機械加工までを一貫して内製化し、全製品の金型を社内で手掛けることで、徹底した品質管理、開発スピード向上、高い加工精度を実現。射出成形、CNC加工、PETブロー成形、仕上げ加工等の先進設備を備え、安定した品質と効率性でカスタマイズ対応も可能である。今後、全自動PETブロー成形機への大型投資による自動化と生産能力拡大を進め、サイクルタイム短縮と単位コスト最適化により大口需要への対応力を高めたい。また、プリフォームの自社生産拠点と専用金型部門を設立し、サプライチェーンの垂直統合も進めて行きたい。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

従来型射出成形手法に依存している点を技術的課題と認識しており、先進的な日本企業との技術提携を通じて技術水準を引き上げ、更なる成長を目指したい。協業範囲は、製品設計、材料選定、金型開発、試作、試験、工程検証、量産立ち上げ、品質システム構築、自動化、製造ラインの改善支援に加え、生分解性・持続可能な代替プラスチック製品開発も含める。当面の対象ターゲットはインドのキッチン収納、家庭用日用品、サステナブル製品分野市場である。パートナーには、自動車向け設計、成形技術、工程管理、品質マネジメントに関する技術・ノウハウの提供を期待する。当社からは、射出成形設備、人材、量産経験、インド市場に関する知見を提供できる。

■ 日本企業からの生産受託

高品質で信頼性の高い製造委託先を求める日本企業との戦略的OEM提携を希望する。当社主力品は高品質なプラスチック家庭用品で、十分な生産能力に加え、精密金型や治具を開発できる最新鋭の自社工具室を保有している。金型設計から製造・量産までを一貫して管理することで、厳格な品質管理、短納期、コスト効率を実現する。本商談では、日本の高い品質基準に適合したインドでの生産現地化を検討し、日本企業の地域・世界市場への展開を支える専用プラスチック製品・部品の共同開発と量産体制の構築を協議したい。